

# よく使われる 配色パターン事例 Palette

## KEYWORD

アーシーで懐かしい

## COLOR

C75	C25	C25
M55	M50	M20
Y25	Y75	Y70
K10	K20	K0

寒色系の色みを加えると、ぐっと洗練される

C15	C0	C40
M20	M100	M45
Y100	Y25	Y100
K5	K10	K10

ナチュラルな色相でも、グレートーンでシックな組み合わせ

C50	C0	C0
M60	M15	M20
Y70	Y20	Y50
K50	K40	K30

古びた、ほこりっぽい風合いの配色。温かみも感じられる

C40	C0	C55
M0	M35	M25
Y75	Y90	Y90
K30	K30	K40

男性的なアースカラーでまとめた配色。落ちついているが少しあかぬけない印象

## KEYWORD

ナチュラルで純粹

## COLOR

C90	C35	C50
M35	M20	M95
Y70	Y75	Y55
K30	K10	K35

品格漂う英国クラシック風の組み合わせ。信頼を感じる色み

C70	C50	C90
M30	M30	M35
Y60	Y95	Y70
K0	K0	K30

類似色のみでそろえると、かっちりした硬い印象

C30	C100	C100
M100	M20	M100
Y100	Y40	Y100
K0	K0	K0

トーンを変えると、ジャパニーズトッドの歌舞伎の配色に

C95	C50	C90
M55	M80	M40
Y40	Y100	Y80
K30	K40	K30

ダークトーンでまとめた伝統的配色。どこか父性を感じさせるイメージだ

# One More Step!

## 明るい茶色で ポップ調のレトロを作る

右ページのサンプルでは、上品さやエレガントさを強調したが、レトロと呼ばれるデザインの中には明るいポップ調もある。少しかわいらしい感じのするレトロを作ってみよう。

# C o l o r

### ・メインカラー



C0.M70. Y80.K20



C0.M20. Y35.K0



C35.M60. Y100.K0

### ・サブカラー



C10.M50. Y100.K0



C10.M85. Y75.K0



C20.M80. Y50.K0

# F o n t s

### ・ポップ体

**レトロデザイン**  
Technopolish  
(Gray Graphics)

**レトロデザイン**  
CitrusFruits  
(Gray Graphics)

**レトロデザイン**  
SHOTARO-2goKT  
(Maniackers Design)

**レトロデザイン**  
AirPacking-Round

**レトロデザイン**  
SpaceColony-K1

### ・サンセリフ

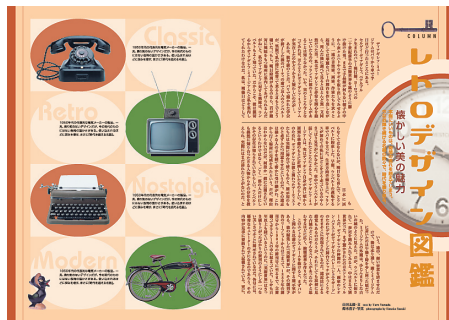
**Retro**  
Bauhaus Demi

**Retro**  
ACRYLIC  
2081-ALP30

**Retro**  
BroadD

**Retro**  
Pollyanna  
(Gray Graphics)

**Retro**  
MilkyWell  
(Gray Graphics)



タイトルの文字をフリーフォントで組んでみる。ポップ調のレトロデザインなら、フリーフォントによくあるカタカナフォントが便利だ

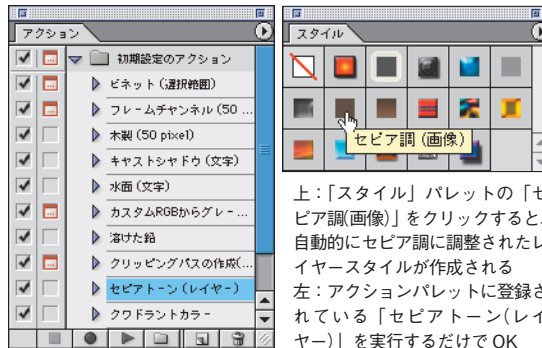


配色に明るいトーンを使った例。古びた感じにも見えるが、温かみが感じられないためレトロ調にならない。ファンタスティックな色調

# Another Step!

## Photoshopで 写真もセピア調に

デザイン全体として、レトロな印象を演出するには、写真もレトロなニュアンスを出すようにするとよい。たとえば、Photoshopのアクションパレットの中にある「セピアトーン (レイヤー)」やスタイルパレットの「セピア (画像)」を使うことで、簡単にセピア調の褪せ色画像をつくり出すことができる。



上: 「スタイル」パレットの「セピア調 (画像)」をクリックすると、自動的にセピア調に調整されたレイヤースタイルが作成される  
左: アクションパレットに登録されている「セピアトーン (レイヤー)」を実行するだけでOK

「調整レイヤー」の「色相・彩度」を使って、さらに細かく色を調整する。「色相の統一」にチェックを入れておくと、全体の色調が保たれたまま、全体の色実を調整できる。ここでは、彩度を下げて、さらに古ぼけた感じを出している

